

素晴らしき松山市電 — 伊予鉄アイ・ラブ・ユー —

伊予国(愛媛県)はロケハン・取材・学会で何度もお邪魔虫。愛媛は日本神話から取った珍しい県名で、よく若者から「愛知」と間違えられた。

松山市内の路面電車も楽しく、大洲・宇和島といった城下町も捨て難い魅力を持っている。

＜三級鉄乗りファン・銭屋小金丸＞

■伊予の地勢・歴史

四国の瀬戸内海沿いに長く連なる(東西・南北百五十キロ以上)。伊予國は古くから瀬戸内海上交通中地。東部・中部(北部)の瀬戸内と佐多岬から南(西部)に大別される。伊予は海が強調されがちだが、四国山地は山岳信仰が盛んな石鎚山に代表される二千メートル近くの険しい山々を持つ。江戸時代から明治期にかけて我国の銅生産を支え、住友財閥を作った別子銅山は新居浜山中にある。

瀬戸内は九州と都を結ぶ交通要所。当然、古代から海賊が跳梁跋扈。関東が騎馬武者平将門公なら、こっちはあの海賊藤原純友が大暴れ。その後も水軍大名河野氏や村上水軍が活躍。戦国江戸初期の大名が目まぐるしく変わったが松山/久松親藩、大洲/加藤外様、宇和島*伊達分家と分散配置。

気候は温暖で海の幸に恵まれている。宇和島は養魚・真珠日本一で水産加工物も各地で生産。農産物も伊予柑・温州みかん・キウイといった柑橘類で知られる。産業は石油化学・造船・紙業・タオル生産。また世界に冠たる船主本場。また各地に美味しいお菓子がある。四国四県ではダントツに人口が多く、風光明媚なしまなみ街道で本州と結ばれている。

県都松山市は道後温泉+「坊ちゃん」で知られ作家・歌人・俳人・映画人・軍人(坂の上の雲)を数多く輩出している<図表1参照>。

■海に山に城に

JR四国の経営環境は北海道に次いで厳しい。四国全県合わせても人口385万人(2020年国勢調査)横浜市程度で人口密度が決め手となる鉄道経営にとって不利。四国縦貫・横断自動車道開通で鉄道より高速

道路の方が速く、便利で競争負けする。

▶予讃線(旧予讃本線)＝伊予鉄の中心は讃岐高松から今治・松山を経て宇和島にいたる予讃線。明治二十一年開業で、宇和島まで全通したのは戦時中の昭和二十年。三百キロ近い四国最長路線で、瀬戸内・宇和海が楽しく眺められるが、最近の特急は支線内子経由が多い。いつも松山で乗り換えていたのは、松山までしか電化していないから<右頁・図表2>。内子線は山側の比較的険しい路線だが、距離は短い。

松山・宇和島へは高松から、寝台列車で瀬戸内大橋を渡って坂出から、福山経由バスでしまなみ海道を渡って今治から、と何度も特急・各駅で往来した。岡山から特急グリーン車に乗ったら、最後尾で中央本線あずさ以上に揺れ驚愕。また松山から乗車したアンパンマン特急は、行く先々の駅や踏切で母親に抱かれた幼児が手を振って迎える。余の前に乗った恰幅のいい紳士はにこやかに

＜図表1＞伊予の人口

愛媛県	133.4万人	備考	
松山市 ○	50.5	県都	
今治市 ○	15.3		
宇和島市 ○	7.1		
八幡浜市	3.2		
新居浜市	11.6		
西条市 ○	10.6		
大洲市 ○	4.1		
伊予市	3.6		
四国中央市	8.4		紙の町※
西予市	3.6		

○:江戸期の城下町

※:四国中央市という市名は!!!

(公益財団法人 国土地理協会2022年4月調査を元に作成)

＜図表2＞特急の所要時間

区間	特急の名称	所要時間
高松－松山市	特急「いしづち」	2時間19分～45分
岡山－松山市	特急「しおかぜ」	2時間40分～45分
松山－宇和島	特急「宇和海」	1時間19分～45分

(メディア開発総研©)

手を振っているの(政治家?)、仕方なく一生懸命手を振った思い出も懐かしい。予讃線は高松・丸亀・今治・松山・大洲・宇和島と素敵な城巡りができ、さらに蠟燭で財を成した内子町も素晴らしい。

▶予土線＝実は半世紀前まで四国は鉄道が繋がっていなかった。予土線は大正年間に宇和島から伸びたが、土讃線窪川駅と全通したのは石油ショック時昭和四十九(1974)年。その間一部路線変更もあった。土佐側は四万十川沿いを走る路線としてテレビにもよく取り上げられる。七十六キロと比較的長い路線。

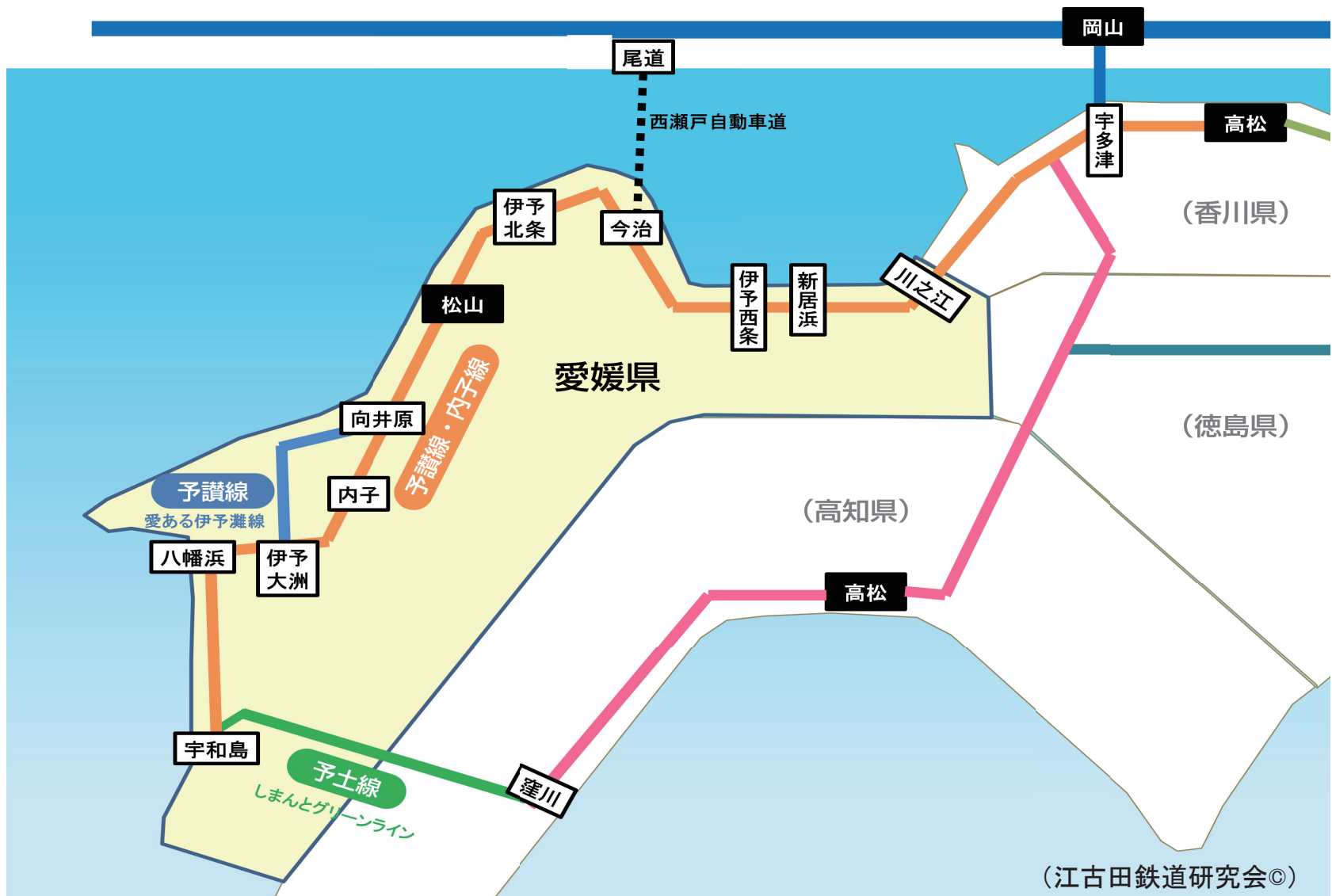
■伊予鉄道／明治二十年創業

私鉄伊予鉄道は全国二番目に古い私鉄で、明治二十年創業。明治二十一年、松山と外濤三津を結ぶ路

線として開業、その後道後鉄道などを買収し松山市一帯に路線を拡大した。松山市を中心とした複数の路線と市内(路面電車)も特筆される<次頁・図表4>。伊予鉄道はホールディング会社で地方財閥の例にもれず、鉄道・バス・タクシー・不動産・旅行代理店・流通とミニコングロマリット。

- ▶高浜線(北)＝松山市駅－三津から高浜に延びる。松山空港まで延びる構想もあったが、ダメみたい。高浜駅の一つ手前「梅津寺駅」は大ヒットドラマ『東京ラブストーリー』で赤名リカがカンチと別れるシーンで使われた。瀬戸内が素敵な駅！
- ▶種河原線(東)＝松山市－種河原。松山市の下町郊外を東に向かう。途中団地や松山医大キャンパスがある。高浜線と相互乗り入れ。
- ▶郡中線(西南)＝松山市－郡中港まで。道路の反対側に予讃線伊予駅がある。
- ▶市内電車(路面電車)＝見所(乗りどころ)の多い路面電車。広島市・高知市と並び「日本三大路面電車」(小金丸認定)。広い県庁前、狭い城下町裏通り、時々汽車ポッポが走る道後温泉と市内を循環できる。特に大手町前は伊予電鉄高浜線と市内路線の線路が交差するのは鉄ちゃん必見*1。

＜図表3＞伊予の鉄



■フレイフレー伊予鉄

伊予も地方の例にもれず、人口減で同時に松山一極集中傾向。石油化学・造船・製紙・食品加工は高度成長期延長。太平洋戦争中、初めて四国を訪れたうるさ型ジャーナリスト清沢冽は四国の街並みの美しさに感動している。余も半世紀前初めて松山・大洲の静かさに心打たれ、八幡浜・内子町で素敵な雛

人形や神社を見たことは忘れられない*2。

伊予国も人口減と鉱工業低迷だが、新産業創出で是非維持してほしいものだ。

*1: 昔は路面電車が多く、各都市で鉄路交差はよく見られた

*2: 3月4日BS-TBS『麵鉄』で松山・八幡浜・宇和島が紹介されていた。松山の麺が細いじゃこ天うどん、八幡浜の特性麺を六角精児が美味しそうにたいらげる

<図表4>伊予鉄道の路線図

